

# 滞 歐 雜 記 帳 (その十四)

工 學 士 山 本 峰 雄<sup>(1)</sup>

## 11. 國民自動車工場

8月も半ばになると獨逸の夏は早くも過ぎ去らんとして居た。リンデンの葉は艶を失ひ街々に設けられた野天のテラスの華かなテーブルの上にその一葉二葉が思出した様に落ちる様になった。

南のバイエルンの山々には昨日既に初雪が降つた。ヒットラー青年團、學生及び軍隊、有志者を動員した麥の收穫は大部分終つてしまつた。去年は工科大学は第3學期迄の學生を動員して麥の收穫を手傳はせたのであるが、今年は全部の學生が動員され、此の動員に應じないものは秋からの講義を聞かせないと云ふ訓令が出された。斯くして9月に行はれる馬鈴薯の收穫が終つた頃、歐洲の危機が再び迫るであらうと云ふ觀測が行はれ出した。

然し獨逸人は悠々として各自の職業にいそしみそして夜は過ぎ行く夏を享樂して居た。彼等には或る確信があつた様に思はれる。

獨逸の國民自動車工場は危機をはらんだ歐洲の風雲をよそに着々と其の工事が進み、ヒットラーは自ら數回其の工事を視察して居た。

8月に入ると共に我々の希望が達せられて國民自動車工場の見學許可が下りた。同行は建築家のT氏と銀行家のI氏の2人、之に案内として労働戦線からH女史とH博士である。外交團關係以外は日本人として最初の見學である。

8月14日の朝労働戦線の自動車に迎へられて

(1) 航空研究所

下宿を出た我々は直ちに、自動車道路の伯林西環状線を横ぎつて國營自動車道路7號線に入り、マグデブルグに向つて時速100軒で黒い針葉樹の森を貫き青々と擴がつた原野を横ぎつて居た。極度に平坦な白い道は果しなく西へ西へと伸びて、少しの振動もない快適なドライブ——エンジンの唸りと、遮風板にあたる風の騒音が聞えるのみである。

白い道の涯に擴がる夏雲を望んで自動車道路を走る事85軒、遂にマグデブルグ工業地帯を左に見て休憩の爲にマグデブルグ・ベルデのラストホーフに入つた。ラストホーフは國營自動車道路の貨物自動車専用ホテルである。自動車道路の沿線には此の外に乗用自動車専用のラストハウスと稱するホテルがあり、之等は150軒乃至200軒おきに配置されて居る。

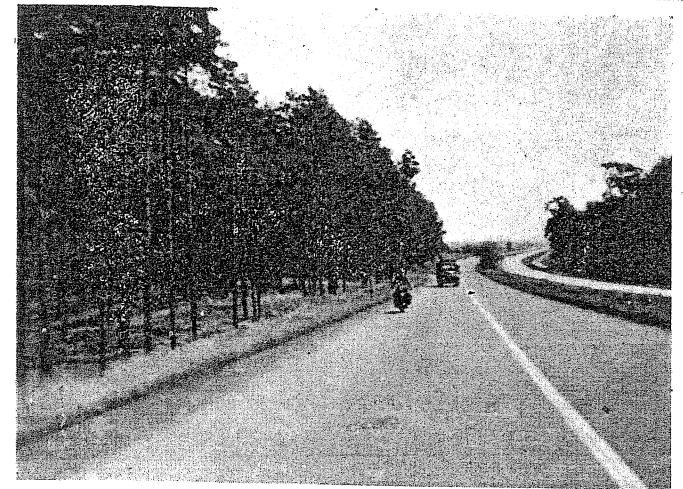
マグデブルグ・ベルデのラストホーフは1938年11月7日に竣工したもので伯林から來ると右側に、自動車道路に沿つて總計200人を收容出来るホテルとテラスが、廣大な前庭を置いて白い壁を光らせて居る。前庭と自動車道路の間には交通整理所が設けられ、道路の左側には120組の貨物自動車と60臺の乗用自動車の駐車場と燃料補給所、修理工場が設けられて居る。

前庭で自動車を降りて紅白の花で飾られたテラスに入り見晴しのよい席を選んで腰を下ろす。テラスからは右は遙かにマグデブルグ工業地帯が見出来る。エンカース飛行機及發動機會社を始め各種の工業の中心をなす工場が立並び色様々の煙

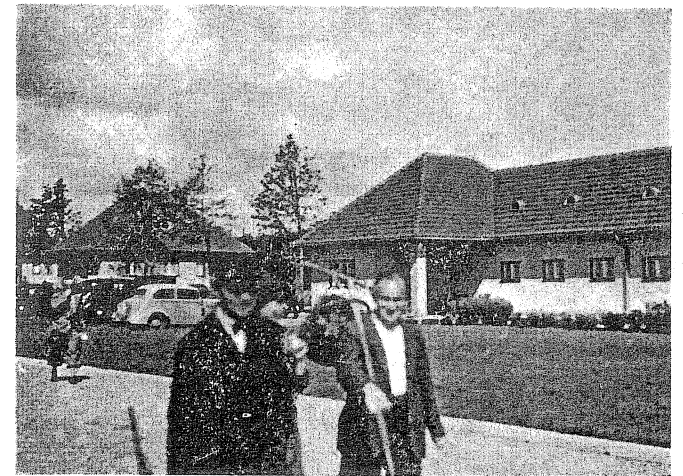
をあげ其の煙は空を覆つて居る。左は遙かに地平線迄起伏の緩かなマグデブルグ・アンハルトの沃野が廣がつて黒い森が之を點綴して居る。小高い丘に設けられた此のテラスから遙かに眼下に連なる北獨逸平原の景色は宏壯な眺めである。天然の大氣の中に降注ぐ太陽の光を浴びて350人を收容出来る大テラスの中に自動車旅行の人々が所々に1團宛かたまつてビールを楽しみ、林檎汁を味はつて居る。地圖を擴げて計畫を相談して居る1群もあるし、楽しかつた自動車旅行の思出を語り笑ひ興じて居る1群も見受けられる。晝間の客は、大部分乗用自動車の旅行者である。

半時間の休憩の後ホテルの中に入つて客室や食堂等を見て廻る。貨物自動車専用とは云ひ乍ら獨逸の驛選時代のホテルの様式に倣つて之を近代化した實に清潔で楽しいホテルである。

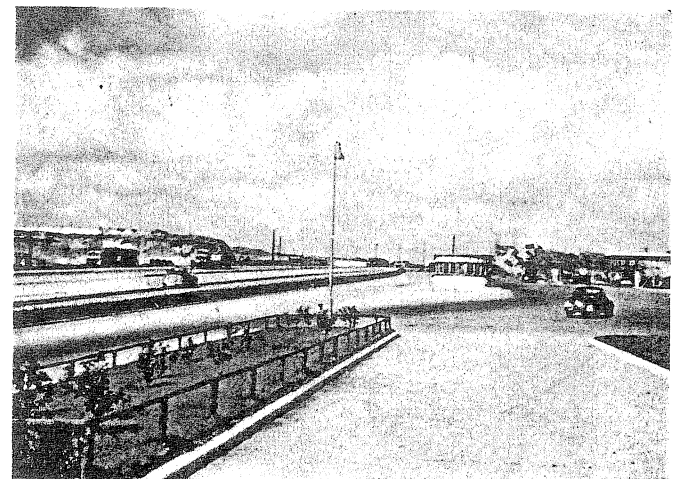
1時間の後に再び自動車に乗込んで自動車道路を西に走り、40分の後にはブラウンシュウィク東部の分岐點から左折して國民自動車工場の前衛工場に到着した。前衛工場はブラウンシュウィク郊外の人里離れた一劃に緑の芝生に圍まれて超近代的の白壁の建物を陽光に輝かせて居た。之は代表的飛行機工場であるオラニエンブルヒのハインケル工場より更に一際美しく窓の大きな明るい工場である。



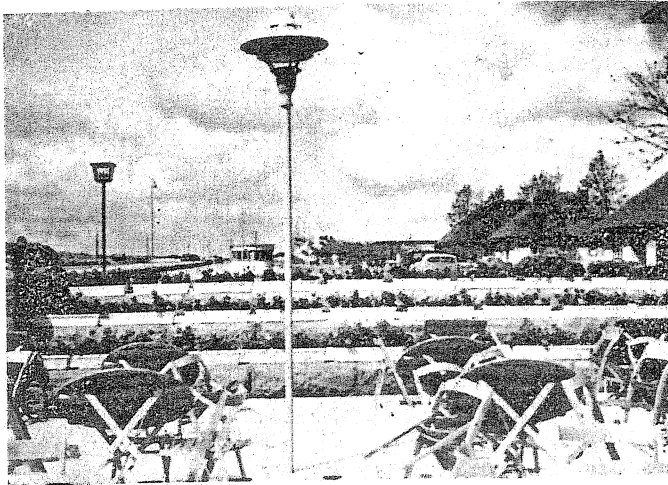
第1圖 國營自動車道路7號線 (著者)



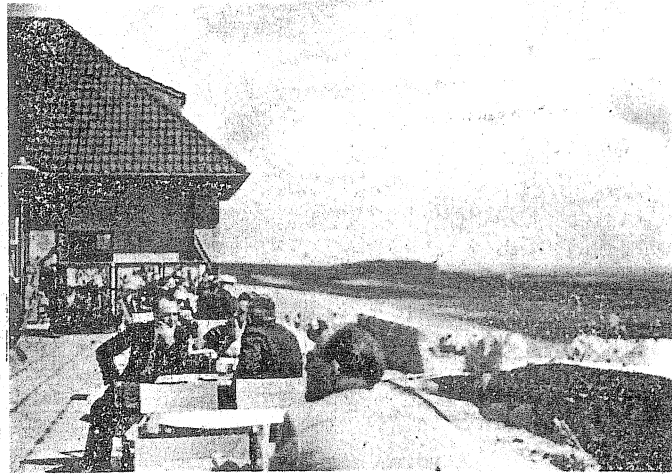
第2圖 マグデブルグ・ラストホーフの一部 (著者)



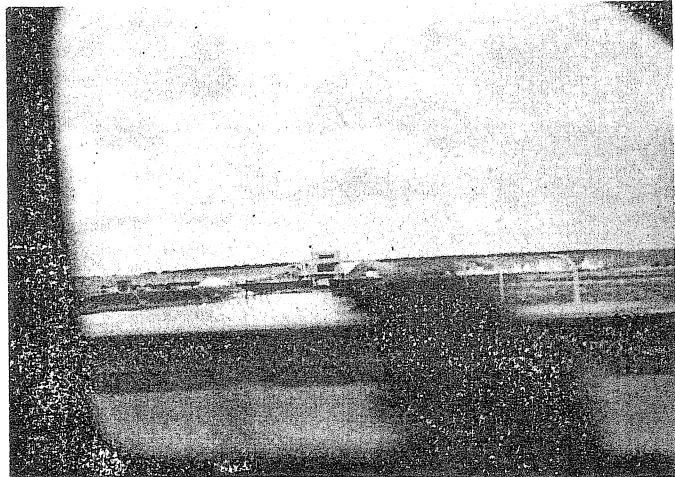
第3圖 ラストハウスの前庭と自動車路 (著者)



第4圖 花に囲まれたテラス (著者)



第5圖 テラスからの眺望 (著者)



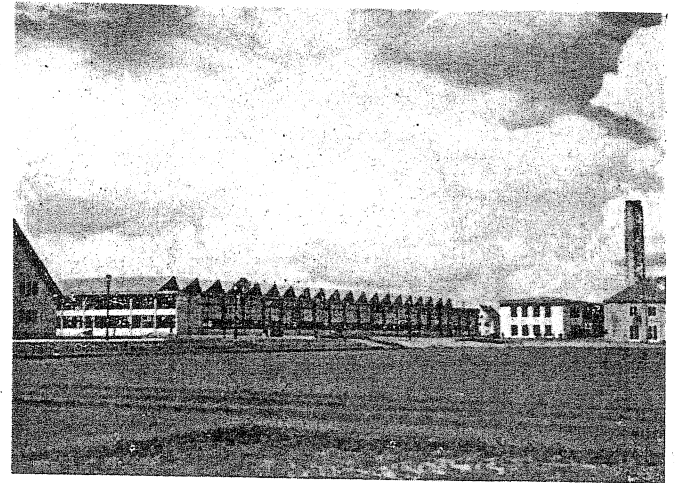
第6圖 車窓から見た前衛工場 (著者)

願れば国民自動車が愈々大量生産に入らうとする現在に至る迄の獨逸の研究は、實に徹底したものであつた。1934年ヒットラー總統は獨逸自動車界の權威者として知られたボルシェ博士とダイムラーベント社のウェアリン氏と伯林のホテル、カイザーホーフに招いて國民自動車の計畫に就いて相談し、次いでウェアリン氏は米國の自動車工業を視察して米國に自動車を普及したフォードに面會して其の意見を徴した。斯くしてボルシェ博士はスツットガルトに國民自動車試験工場を作り1936年には最初の試験用國民自動車V-3型を作つて5萬軒の走行試験を行ひ、翌1937年には更にVW 30型自動車30臺を試作してあらゆる道路に亘つて總計250萬軒の走行試験を行つて、最終的に其の型式と構造とを決定すると同時に、労働戦線は獨逸國民自動車準備會社を設けて國民自動車計畫の完成に邁進する事となつたのである。斯くして先づブラウンシュバイクに此の國民自動車前衛工場を設けて大量生産工場の研究、見習工養成に着手し、更に1938年には國民自動車會社を設けて、ブラウンシュバイクの東北方20軒のファラースレーベン附近に3平方軒の地をトして本工場の建築に着手したのである。即ち本工場は同年5月26日ヒットラー總統臨席の下に其の定礎式が行はれた。

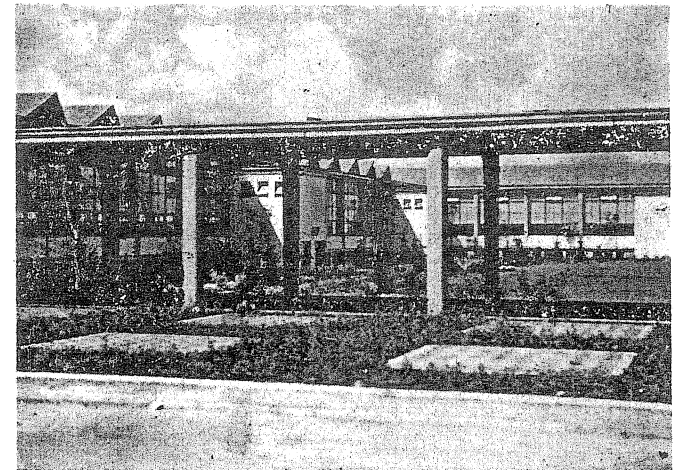
前衛工場は現在は獨逸労働戦線が

見習工養成の模型的施設を此處に建設して、全國の各機械工場の見習工養成を指導して居るものであつて、豪華な見習工養成工場と、職業學校及び見習工養成の指導技師を育成する國立技師學校を設け、労働美化運動の趣旨に依り見習工の寄宿舍、運動施設、KdFホール等を附置して居る。

先づ例の如くに工場長及技師に紹介された後工場の施設と其の目的に就いて詳細な説明があつた。説明が終つて外に出ると既に正午となつて黒い作業服を着た見習工は晝食を終つてKdFホールに出て來て構内一面に擴がる芝生の上に陽光を受けて休憩を取つて居る。見習工養成工場は底から下の大部分が硝子になつて居て、壁は白く、其の周りには花壇を設けて色とりどりの花が咲亂れて居る。美しい構成美である。我々は175,000平方メートルの廣大な敷地を持ちそして豪華な此の工場が果して見習工養成のみに使用されて居るとはどうしても信ぜられない儘に、色々質問を出して見は間違ひではなかつた。だが現在は全て見習工養成に充てられてゐること



第7圖 國民自動車前衛工場 (著者)



第8圖 花と芝生に囲まれた工場 (著者)

は間違ひではなかつた。

(この項續く)

編 纂 者

陸軍少將 大場 彌平 海軍大佐 加藤 尙雄  
陸軍少佐 西原 勝 海軍中佐 高馬 正義

寫 眞 日 本 軍 用 機 史

増刊出來 海と空社 定價3圓50錢